

講演会

「南アルプスユネスコエコパーク登録 10 周年と早川の自然」

南アルプスは3,000m級の山々からなり、この山地の形成には糸魚川—静岡構造線と呼ばれる日本列島を東西に二分する大きな断層が関係しています。この大断層の最も立派な現場は早川町内（新倉地域：右の写真）で見ることができます。



早川町新倉の大断層

また南アルプスは特有の気候の影響を受け、谷は深く浸食され、一方で豊富な動植物が分布していることからユネスコエコパークに登録されています。登録から10周年を迎える節目に、南アルプス・早川渓谷沿いの自然に関する講演会を企画しました。今回は、その第一弾です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◎演題

「早川町の大地に記録されている日本列島の形成史」

・・・・・・（山梨県立大学 客員教授 輿水達司）

◎日 時 令和6年6月8日（土曜日）

午前10時～午前11時30分（受付：午前9時30分から）

◎会 場 早川町役場2階会議室（住所：早川町高住758）

◎参加費 無料

主 催：日本上流文化圏研究所

問合先：日本上流文化圏研究所

（電話：0556-45-2160 HP：<http://www.joryuken.net/>）